

救急部

Emergency Medical Center

部長(併)	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
副部長(併)	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助手(併)	今村 知代	Tomoyo Imamura
助手(併)	旭 雄士	Takashi Asahi
助手(併)	丹下 大祐	Daisuke Tange

著 書

- 1) Wakasugi M., Okudera H., Ohta T., Asahi T., Igawa A., Tange D.: Development of the New Coma Scale: Emergency Coma Scale (ECS). In: Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology. Springer-Verlag, Tokyo, 400-403, 2006.
- 2) 奥寺 敬: 救急医療-手技, 高気圧酸素治療. 今日の治療指針 2006 年版, 102-103, 医学書院, 東京, 2006
- 3) 奥寺 敬: メディカルコントロールとは何ですか? 中村恵子(監修), 寺師 榮, 臼井千津編: 救急看護 QUESTION BOX 9: プレホスピタルケア・災害看護, 16-17, 中山書店, 東京, 2006.
- 4) 奥寺 敬: ドクササコ中毒による肢端紅痛症症状の特徴と治療. 渡辺治雄編: 食中毒検査・診療のコツと落とし穴, 40-41, 中山書店, 東京, 2006.
- 5) 丹下大祐, 奥寺 敬: けいれん. 石原 晋, 益子邦洋編: プレホスピタルMOOK 1 現場活動プロトコール-1, 72-79, 永井書店, 東京, 2006.
- 6) 奥寺 敬: 「ISLS コース」の開発. 日本救急医学会・日本神経救急学会(監修), ISLS コースガイドブック編集委員会編: ISLS コースガイドブック, へるす出版, 東京, 2006.
- 7) 丹下大祐: 「ISLS コース」の設定とアルゴリズム, 「ISLS コース」の概略. 日本救急医学会・日本神経救急学会(監修), ISLS コースガイドブック編集委員会編: ISLS コースガイドブック, 15-18, へるす出版, 東京, 2006.
- 8) 丹下大祐: 「ISLS コース」の設定とアルゴリズム, 脳卒中初期診療のアルゴリズム. 日本救急医学会・日本神経救急学会(監修), ISLS コースガイドブック編集委員会編: ISLS コースガイドブック, 19-22, へるす出版, 東京, 2006.
- 9) 若杉雅浩: 「ISLS コース」の実際, 意識障害の評価. 日本救急医学会・日本神経救急学会(監修), ISLS コースガイドブック編集委員会編: ISLS コースガイドブック, 24-28, へるす出版, 東京, 2006.

原 著

- 1) Koyama J., Hongo K., Takasuna H., Kawagishi K., Iwashita T., Okamoto K., Seguchi T., Kusano Y., Okudera H.: Description and first clinical application of AirWay Scope® for tracheal intubation. J. Neurosurg. Anesthesiol., 18:247-250, 2006.
- 2) 堤 晴彦, 横田裕行, 奥寺 敬, 奥地一夫, 鈴木伸行, 秋山裕利: 意識障害に対するプレホスピタルケアの標準化. 内科, 97, 860-864, 2006.
- 3) 野口勝己, 紫雲俊美, 小林敬一郎, 池田大作, 奥寺 敬, 田中敏行: 救急医療対応システムにおける照明機器の必要照度の研究. 病院設備, 48, 248-249, 2006.
- 4) 若杉雅浩, 奥寺 敬, 内藤万砂文, 広瀬保夫, 小倉真治, 和籬幸弘, 井川晃彦, 丹下大祐: 平成 16 年 7 月新潟福島豪雨災害の人的被害の調査報告. 日本集団災害医学会誌, 11, 38-42, 2006.
- 5) 若杉雅浩, 高橋千晶, 奥寺 敬: 意識障害の評価法 - Emergency Coma Scale の意義 -. 救急医学, 30, 1749-1752, 2006.
- 6) 旭 雄士, 若杉雅浩, 丹下大祐, 岡澤成祐, 遠藤俊郎, 奥寺 敬: 富山市における頭部外傷救急患者の搬送状況についての検討: 第一報. 日本救急医学会中部地方会誌, 2, 7-8, 2006.

総 説

- 1) 奥寺 敬, 丹下大祐: 脳卒中初期診療における ISLS(Immediate Stroke Life Support)コースの意義. 看護技術, 52, 702-705, 2006.
- 2) 若杉雅浩, 旭 雄士, 丹下大祐, 岡澤成祐, 奥寺 敬: ISLS コースにおける意識障害と神経学的所見の評価. 標準化された評価の手順と方法. 看護技術, 52, 706-711, 2006.

- 3) 若杉雅浩, 高橋千晶, 奥寺 敬: 意識障害の評価法. 救急医学, 30, 1749-1752, 2006.
- 4) 旭 雄士, 奥寺 敬: 低血糖・高血糖. 日本医師会雑誌, 135, S361-S362, 2006.
- 5) 旭 雄士, 奥寺 敬: 痙攣/痙攣重積. 救急・集中治療, 18, 916-920, 2006.
- 6) 丹下大祐, 奥寺 敬: 自動体外式除細動器 (AED), 除細動, カルディオバージョンの指針. 救急・集中治療, 18, 526-527, 2006.
- 7) 丹下大祐, 奥寺 敬: 脳卒中初期診療トレーニング: ISLS(Immediate Stroke Life Support)コース. Brain Rescue, 14, 22-24, 2006.
- 8) 山本由加里, 奥寺 敬: ガイドライン 2005 の自動体外式除細動器 (AED) の使い方を教えて. ナーシング・ケアQ & A, 13, 22-23, 2006.
- 9) 山本由加里, 奥寺 敬: ガイドライン 2005 の小児から成人の除細動器の使い方を教えて. ナーシングケアQ & A, 13, 24-25, 2006.
- 10) 山本由加里, 奥寺 敬: 脳卒中初期診療と救急看護. 看護技術, 52, 712-716, 2006.

その他

- 1) 丹下大祐, 奥寺 敬: 話題の論文紹介 脳卒中初期診療トレーニング ISLS(Immediate Stroke Life Support)コース. ブレインレスキュー, 14, 22-24, 2006.

研修会, 講演

- 1) 奥寺 敬: これからの地域中核病院における救急医療のあり方. 黒部市民病院救急医療講演会, 2006, 1, 黒部.
- 2) 若杉雅浩: 災害時の医療と看護の標準化. 富山赤十字看護学校卒業記念講演, 2006, 2, 富山.
- 3) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 旭 雄士, 丹下大祐, 有賀 徹, 坂本哲也, 鈴木明文, 小倉憲一: 脳卒中初期診療コース. 第1回富山ERフォーラム, 2006, 4, 富山.
- 4) 奥寺 敬: 心肺蘇生ガイドライン 2005 の概要と変更点. 平成 18 年度下新川郡・滑川医師会合同生涯教育講座, 2006, 6, 黒部.
- 5) 奥寺 敬: 脳卒中と救急. 五泉市市民公開講座, 2006, 7, 新潟.
- 6) 奥寺 敬: ISLS 開発の経緯と今後の展望. 第6回秋田脳研脳卒中セミナー, 2006, 7, 秋田.
- 7) 奥寺 敬: 安心・安全と危機管理医学. 財団法人富山県高等学校安全振興会 設立記念講演会, 2006, 7, 富山.
- 8) 丹下大祐: 最新の国際ガイドラインに基づく心肺蘇生法. 富山県立高岡高等学校ミニ大学, 2006, 7, 高岡.
- 9) 奥寺 敬: 災害医療の基本. 災害救援ボランティアセミナー, 富山大学黒田講堂, 2006, 8, 富山.
- 10) 奥寺 敬: 新しい国際ガイドラインによる心肺蘇生. 富山県養護教諭夏季研修第一部会, 2006, 8, 富山.
- 11) 奥寺 敬: 学校生活における健康危機管理. 富山県養護教諭 第二部会, 2006, 8, 富山.
- 12) 若杉雅浩: プロトコールと救急現場活動救急救命処置訓練. 2006, 9, 富山.
- 13) 奥寺 敬: 富山県庁 AED リニューアル講習, 富山県民会館, 2006, 9, 富山.
- 14) 若杉雅浩: 外来における救急対応. 富山市整形外科診診連携救急医療セミナー. 2006, 9, 富山.
- 15) 奥寺 敬: 災害看護 1. 平成 18 年度富山県看護協会短期研修, 富山県看護協会, 2006, 10, 富山.
- 16) 奥寺 敬: ISLS (immediate stroke life support) ワークショップ. 第65回日本脳神経外科学会, 2006, 10, 京都.
- 17) 奥寺 敬: 実践 救急医療. 第50回社会保険指導者講習伝達講習会 - 実践 救急医療 -, 富山県医師会, 2006, 10, 富山.
- 18) 若杉雅浩: 「どこ」が「なぜ」変わったのか? 新しい救急蘇生ガイドライン. 富山県下救急隊員研修会, 2006, 11, 富山.
- 19) 奥寺 敬: 救急医学総論・MC. 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 11, 富山.
- 20) 若杉雅浩: 外傷総論・JPTEC. 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 11, 富山.
- 21) 旭 雄士: 循環器の解剖生理学. 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 11, 富山.
- 22) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 旭 雄士: 富山赤十字病院研修会 JATEC の FAST について. 2006, 11, 富山.
- 23) 奥寺 敬: 多数傷病者事故に対する救急医療 (NBC 災害・トリアージ). 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 12, 富山.
- 24) 奥寺 敬: 特殊災害に対する消防活動要領 (サリン). 富山県消防学校特殊災害科 (第2期), 2006, 12, 富山.
- 25) 旭 雄士: 高齢者の疾患. 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 12, 富山.
- 26) 丹下大祐: ACLS 総論・AED. 富山県消防学校救急科 (第9期), 2006, 12, 富山.

- 27) 丹下大祐：出血と処置．富山県消防学校救急科（第9期），2006，12，富山．
- 28) 若杉雅浩：食道異物・気管異物．富山県消防学校救急科（第9期），2006，12，富山．
- 29) 奥寺 敬：救急医療における新しいシミュレーション・トレーニングの動向．第7回南進救命救急研究会・学術講演会，2006，12，長野．

学会報告

- 1) 奥寺 敬，若杉雅浩，井川晃彦，旭 雄士，丹下大祐，有賀 徹，坂本哲也，鈴木明文，小倉憲一：脳卒中初期診療（ICLS）コースの開発．第11回日本脳神経外科救急学会，2006，1，大阪．
- 2) 小山淳一，本郷一博，岩下具美，岡元和文，青山達郎，瀬口達也，一之瀬良樹，奥寺 敬：エアウェイスコープを用いた頸椎病変症例における気道確保．第11回日本脳神経外科救急学会，2006，1，大阪．
- 3) 旭 雄士，久保道也，桑山直也，山本博道，若杉雅浩，井川晃彦，丹下大祐，奥寺 敬，遠藤俊郎：巨大塞栓子による急性期頸部内頸動脈閉塞症の2症例．第11回日本脳神経外科救急学会，2006，1，大阪．
- 4) 奥寺 敬：医療機関の防護 医療機器設備の災害対応能力を考える．（教育セミナー），第11回日本集団災害医学会，2006，2，仙台．
- 5) 上條幸弘，矢澤和虎，酒井龍一，瀧澤壯臣，久保卓郎，大和眞史，小口寿夫，小松道俊，奥寺 敬：諏訪湖花火大会での救護状況．第11回日本集団災害医学会，2006，2，仙台．
- 6) 大友康裕，本間正人，佐々木勝，奥寺 敬，山田憲彦，須崎伸一郎，定光大海，中山伸一，小井土雄一，松本 尚，布施 明，井上潤一，辺見 弘：宮城県沖地震にどう備えるか，宮城県沖地震に対する超急性期医療-広域緊急医療搬送計画とDMAT派遣計画について．第11回日本集団災害医学会，2006，2，仙台．
- 7) 小山淳一，本郷一博，岩下具美，岡元和文，瀬口達也，青山達郎，奥寺 敬：エアウェイスコープ(AWS)の開発と臨床使用．第33回日本集中治療医学会学術集会，2006，3，大阪．
- 8) 渋谷伸子，杉木 実，奥寺 敬，釈永清志，山崎光章：当院におけるデクスメデトミジン使用時の循環変動．第33回日本集中治療医学会学術集会，2006，3，大阪．
- 9) 旭 雄士，若杉雅浩，井川晃彦，丹下大祐，奥寺 敬，遠藤俊郎：富山市における頭部外傷救急患者の搬送状況についての検討（第一報）．第29回日本神経外傷学会，2006，3，東京．
- 10) 旭 雄士，久保道也，桑山直也，山本博道，若杉雅浩，奥寺 敬，遠藤俊郎：巨大塞栓子による急性期頭蓋外頸動脈閉塞症の2症例．第31回日本脳卒中学会総会，2006，3，横浜．
- 11) 井川晃彦，丹下大祐，岡澤成祐，若杉雅浩，旭 雄士，奥寺 敬，山本由加里：剣 ICLS コースのあゆみ．第9回日本臨床救急医学会総会，2006，5，盛岡．
- 12) 丹下大祐，岡澤正祐，若杉雅浩，井川晃彦，旭 雄士，奥寺 敬，山本由加里：富山県における AED 普及への現状と今後-富山 AED プロジェクトの紹介-．第9回日本臨床救急医学会総会，2006，5，盛岡．
- 13) 若杉雅浩，丹下大祐，旭 雄士，井川晃彦，奥寺 敬：脳卒中初期診療（ISLS）コースの開発．第9回日本臨床救急医学会総会，2006，5，盛岡．
- 14) 小山淳一，本郷一博，瀬口達也，青山達郎，岡元和文，岩下具美，奥寺 敬：エアウェイスコープの臨床使用．第9回日本臨床救急医学会総会，2006，5，盛岡．
- 15) 若杉雅浩，旭 雄士，丹下大祐，岡澤成祐，奥寺 敬，馬場美智子，東原紘道：医療機関の防護．第31回日本外科学系連合学会学術集会，2006，6，金沢．
- 16) 奥寺 敬：新しい救急医療の流れ - 受身から攻めへ - ．第3回岐阜県救急医療研究会総会・学術集会，2006，7，岐阜．
- 17) 奥寺 敬：神経救急の現状と将来展望-松本サリン事件から危機管理医学，ISLS コース開発まで- ，第7回昭和大学臨床神経（SRS）カンファランス，2006，7，東京．
- 18) 岡澤成祐，若杉雅浩，旭 雄士，濱田浄司，丹下大祐，奥寺 敬：心肺蘇生法講習における絶え間ない胸骨圧迫強調の指導的効果の検討．第24回富山県救急医療研究会，2006，8，富山．
- 19) 濱田浄司，当院において t-PA 静注療法を行った心原性脳塞栓症の第1例．第24回富山県救急医療研究会，2006，8，富山．
- 20) 奥寺 敬，若杉雅浩，旭 雄士，丹下大祐，岡澤成祐，有賀 徹，坂本哲也，横田裕行，久保山一敏，鈴木明文：急性脳卒中のトレーニングコース（Immediate Stroke Life Support: ISLS コース）の開発．第34回日本救急医学会総会，2006，10，福岡．
- 21) 丹下大祐，若杉雅浩，旭雄士，岡澤成祐，奥寺 敬：剣（つるぎ）ICLS コースへの新ガイドライン導入経験．第34

回日本救急医学会総会，2006，10，福岡．

- 22) 平出 敦，池上敬一，石見 拓，遠藤智之，奥寺 敬，金子高太郎，木村昭夫，北原 浩，菊池 研，小池 薫，小林正直，坂本哲也，境田康二，杉浦立尚，谷川攻一，田中行夫，中谷壽男，野田英一郎，林 峰栄，早川峰司，真弓俊彦，山畑佳篤，有賀 徹：新しい救急蘇生ガイドラインと ICLS コース．第 34 回日本救急医学会総会，2006，10，福岡．
- 23) 上條幸弘，栗崎功己，高木 靖，小口寿夫，奥寺 敬：諏訪湖周辺の救護活動における救急低による水上搬送 5 例の検討．第 34 回日本救急医学会総会，2006，10，福岡．
- 24) 奥寺 敬：災害医療と mass gathering 医学（群集医学）．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006，10，富山．
- 25) 奥寺 敬：プレホスピタルケアにおける看護師の活動～医師の視点から～．第 8 回日本救急看護学会，2006，10，福島．
- 26) 山本由加里：胸骨圧迫心臓マッサージに背板を用いたことによる有用性の検証．第 8 回日本救急看護学会，2006，10，福島．
- 27) 今村知代，奥寺 敬，古田 勲，野口 誠，姚 立，井上さやか，今上修一：富山県の歯科における救急危機管理についてのアンケート結果について．第 51 回日本口腔外科学会総会，2006，10，北九州．
- 28) 若杉雅浩，奥寺 敬，小倉憲一，津山博：何が変わり，何が変わらないのか？富山メディカルコントロール協議会 3 年間の歩み．第 34 回日本救急医学会総会，2006，11，福岡．
- 29) 今村知代，奥寺 敬，古田 勲，野口 誠，姚 立，井上さやか，今上修一：富山県の歯科における救急危機管理についてのアンケート結果について．第 12 回アルペン口腔科学フォーラム，2006，11，富山．
- 30) 岡澤成祐，若杉雅浩，旭 雄士，丹下大祐，筒井美緒，徳井宏太郎，奥寺 敬：就労で発症した直腸温 43.1 の III 度熱中症の 1 例．第 19 回 日本救急医学会中部地方会，2006，12，静岡．

主催学会・研究会等

- 1) 第 14 回富山大学救急搬送事例検討会，2006，1，富山．
- 2) 第 1 回富山 ER フォーラム，2006，4，富山．
- 3) 第 15 回富山大学救急搬送事例検討会，2006，4，富山．
- 4) 第 19 回日本脳死脳蘇生学会総会・学術集会，2006，6，富山．
- 5) 第 16 回富山大学救急搬送事例検討会，2006，11，富山．